

聖書の物語著者の〈美学〉を求めて UNVEILING THE AESTHETIC LAYERS OF THE BIBLICAL NARRATIVE

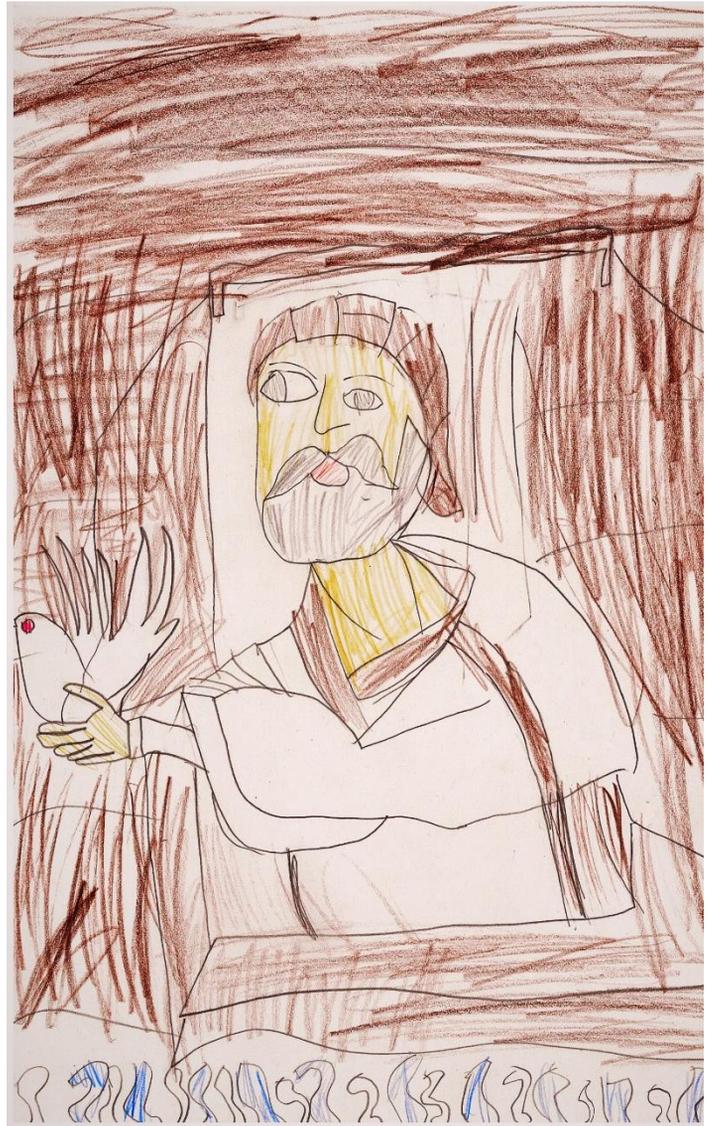
講演者: Prof. Yair Mazor

University of Wisconsin(USA) 言語文学科教授。現代ヘブライ語文学、比較文学、文学理論を専門とし、聖書の美学及び修辞法に関する独創的業績で知られる。26冊の著書と250編を超える論文を公刊。1998年には米国で最も傑出したユダヤ学研究者に贈られるFriedman Prizeを受賞。イギリス、イタリア、フランス、スペイン、ノルウェー、デンマーク、スウェーデン、チェコ、イスラエルなど、海外の大学および研究機関にて多くの招待講演を行ってきたが、本学の今回の講演が日本における初の機会となる。

— —

創世記の2-3, 6-9, 11-12, 22章の物語单元(エデンの園における人間の原初史、洪水、アブラムの召命、イサク奉獻)を題材に、その著者(もしくは著者集団)が、どのような審美的基準や修辞的技法を駆使しながらメッセージの伝達を試みているかについてお話いただきます。テキストはヘブライ語原典に加えて英訳も用意いたします。講演および質疑応答は英語で行われます。

文学部教授 竹内裕
(コーディネーター)



日時: 2015年5月26日(火) 16:10~17:40

会場: 熊本大学 黒髪北キャンパス くすの木会館 レセプションルーム

問合せ: 熊本大学 大学院先導機構 国際共同研究拠点 人文社会科学系事務担当
096-342-2480 E-mail: k-kyoten@jimu.kumamoto-u.ac.jp